

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

【No.1 教務関係】

岐阜県立八百津高等学校 学校番号 38

I 自己評価

1	学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。	
2	評価する領域・分野	◇教育課程・学習分野	
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の保護者アンケートで、本校に期待することの1番目（57.4%）に基礎学力の定着を挙げている。 ・校内には基礎的学力の定着の不十分な生徒が少なくない。 	
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇学力の定着と向上を図る。そのため、授業の充実と活性化を図ると共に学習支援をきめ細かく行う。	
5	重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科との連携 ・学年部との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部との連携
6	目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 少人数指導の充実 (2) 生徒の実態を踏まえた授業改善 (3) 定期考査前のノート学習 (4) 進学希望者への個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各考査における欠点者の数 (2) 生徒による授業アンケート (3) ノート学習達成状況 (4) 入学試験の結果 	
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の数学Iとコミュ英Iにおいて、2～4組の3クラスを習熟度別に4クラスに分けた。 ・1年に2回の授業公開週間を実施しながら、生徒に合った授業のあり方を考える。 ・0限補習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員全体で組織的に取り組めたか。 ② 生徒の学力は向上したか。 ③ 生徒が自己の進路希望をかなえられたか。 	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
11	成果・課題	総合評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導を充実させることで個々の生徒への対応を深めることができた。 ○0限補習、ノート学習を計画的に行うことができ、家庭における学習時間が一定時間確保できた。 ●公開授業週間を設けたが、文化祭後の平日だったので一般参観者は0人だった。本校の特色を生かし保護者や地域住民の方々と共に活動できる企画を考えたい。 	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>	
12	来年度に向けての改善方策案		
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間に実施した生徒による授業アンケートを参考に、より分かりやすい授業が実施できるように工夫する。 ・学習内容の定着が遅い生徒に対しては、特に個人指導をきめ細かく実施する「寄り添い指導」をさらに続ける。 ・進学希望者の学力を伸ばすため関係職員連絡会を定期的に設け、家庭学習時間の確保とその充実を図る。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

【意見・要望・評価等】

- ・学力の定着と向上を図るための少人数指導の充実について、今後も継続をして進めていってほしい。
- ・公開授業の一般参加者が増えるように、事前のPR活動をさらに進めていってほしい。

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

【No. 2 中高一貫教育】

岐阜県立八百津高等学校 学校番号 38

I 自己評価

1 学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。	
2 評価する領域・分野	◇連携型中高一貫教育	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒及び保護者に実施したアンケート調査では「中高一貫教育を通して地域に貢献する人材を育成し、町の活性化に寄与している」に対する肯定的な評価が生徒73%、保護者85%となった。中高連携の成果が本校の活力を生み出していることを校報やHP等を活用して更に広めていくとともに、生徒への自覚を促していきたい。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇「6年間を通して育てる」「地域から学び、地域に貢献する人材の育成」を目標に取り組み、学力の定着と豊かな人間性の育成を目指す。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・可茂地区連携型中高一貫教育校長会議 ・可茂地区連携型中高一貫教育コーディネーター会議	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 組織相互の有機的な連携 (2) 中高全職員研修と授業交流の充実 (3) 町民と学校関係者向け広報活動	(1) 組織が効率よく機能したか (2) 重点目標の確認と授業交流の充実 (3) 町民、保護者の意識の向上	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・校長会議、コーディネーター会議、評価委員会の連携強化と充実 ・全職員研修による「6年間を見通した教育」の具体化を交流授業と公開授業を柱に進める ・八高HPの「八高トピックス」の更新と広報活動 ・6年間を見通した指導法と交流授業の発展。入試制度改革に伴うチャレンジテストファイルの活用 ・中高でのキャリア教育の取組を交流しながら「6年間を通した課題」の研究	①組織が効率よく機能し、中高連携がより推進されたか。 ②中高教職員の授業交流を発展させ、継続的研修をすすめる。 ③町民及び学校関係者への広報活動が図れたか。 ④6年間を見通した教育実践。 ⑤中高のキャリア教育の交流。	A B C D A B C D A B C D A B C D A B C D
11 成果・課題	○「6年間を通して育てる」研修として八高での公開授業では「つまづき」をテーマに授業公開を行った。その後中高合同教科部会を行い記録を冊子にまとめたり、予備実験の中で「つまづき」を予想し対応を考え合ったりした。 ○八百津中、八百津東部中2校の体験入学や互いの教職員による授業参観などの交流が盛んにできた。また両校のPTAの訪問により、八百津高校の実情を知ってもらい理解を深めた。 ○夏休みの学力養成セミナーを両中学校で行い、多くの参加があった。 ○八高HPを頻繁に更新し、地域の関係者、中学校に継続的に配布した。 ●交流授業におけるT1とT2の役割分担をさらに明確にして行きたい。 ●デュアルシステムを中心としたキャリア教育の交流について、成果発表会を行うことができたが、交流までは話が及んでいない。	
12 来年度に向けての改善方策案	・中高一貫教育の成果を「生徒の姿」としてHP等で広報し、町民の支援や中学生とその保護者の理解を図り、入学志願者の増加に結び付けていく。 ・交流授業のT2の効果的な活用とチャレンジテストの活用などで、「学力の定着」を連携して進める。 ・中高の生徒会の交流や様々な行事の中で、生徒間交流をさらに進める。 ・デュアルシステムや職場体験など、中高のキャリア教育の交流をもとに、新たな活用の在り方を模索していく。	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

【意見・要望・評価等】
・「評価視点」の組織の効率性や中高職員の交流について高評価なので、今後も継続してほしい。 ・八百津高校の特長のひとつであるデュアルシステムの中高連携について、今後検討してほしい。

I 自己評価

1 学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「マナー指導」（服装・頭髪指導含む）「教育相談」「いじめ」「体罰」について、生徒の評価平均が向上している。それに対して保護者の評価が下降している。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇信頼と愛情を基盤とする厳しさに立脚した積極的な「寄り添い指導」を展開する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 常に生徒の情報収集・集約に努め、管理職に報告を素早くするとともに、その対策について検討する。そのための生徒連絡会を毎週行う。 学年主任が全員指導部に入り、学年の生徒指導の要となる。 必要に応じてすばやく集会・講話を行う。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 個人面談・保護者懇談・三者懇談を行う。 (2) 遅刻防止指導・身だしなみ個別指導を行う（ 3) 迷惑調査や i - c h e c k 検査を行う。 (4) 人権講習会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習・生活状況の確認 (2) 遅刻・欠席数などの集計確認 挨拶指導 身だしなみ個別指導の確認 (3) 迷惑行為・いじめ行為の確認 (4) 差別・暴力行為の確認 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> (1) 個人面談（春秋）・保護者懇談（春）・三者懇談（夏・冬）を行った。 (2) 定期的な身だしなみ指導と共に、個別指導を常時行った。挨拶指導も行った。 (3) 迷惑調査・i - c h e c k 検査と共に研修会を開催した。 (4) 人権講話し、感想文を記入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ①悩みはないか。 ②正しい身だしなみをしているか。時間を守っているか。 ③困っていることはないか。検査の結果に変化はないか。 ④相手の人権を尊重しているか。 	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ i - c h e c k 検査、迷惑調査（各学期毎）、個人面談や保護者懇談などを通じて、生徒・保護者の悩みを把握し、早期の解決に向けて指導することができた。講師を招き研修会を開くことで本校の特徴を知ることができた。 ○身だしなみ個別指導により校内では改善が見られる。継続した指導が今後必要である。 ○昨年と比べ遅刻・欠席者数が増加した。遅刻については常習者の対応を早期にする。来年度も時間を守ることの大切さを引き続き訴えていきたい。 ○生徒の評価は向上しているが、そのことが保護者に伝わっていないので、保護者への周知徹底を図りたい。 ○教育相談で専門家の助言を受ける機会が多くあった。継続していきたい。 ○携帯・スマホの使用禁止期間を設けた。落ち着いて学習に取り組み、考査の結果で成果が出た。 	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻・欠席などの減少を図っていききたい。遅刻者の挨拶指導を徹底する。 ・迷惑調査や i - c h e c k 検査の活用について職員研修などを通して図っていききたい。また、日々の生活の中で「いじめ」の兆候を見逃さない体制づくりをしたい。 ・4月の適応指導と発達障がい生徒への指導の在り方を、研修などを通して共通理解を図りたい。 ・携帯電話使用マナー週間を引き続き行いたい。 ・言葉遣いや職員室等の入室方法など社会人としてのマナーを職員全員で指導する。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯・スマホの使用禁止期間の取組の初年度だったが、よい効果が出ていると考えているので、今後とも進めてほしい。
--

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

【No. 4 進路指導関係】

岐阜県立八百津高等学校

学校番号 38

I 自己評価

1 学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごと、生徒のニーズに合った進路情報を十分に提供できているとは言えず、生徒が自立に向けてビジョンを持てるに至っていない。 ・進路情報の提供については、保護者の理解は進んでいる。 ・社会で通用するマナーの指導において、引き続き生徒指導部と連携して取り組んでいく必要がある。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇コミュニケーション能力を育成するため、挨拶の励行、授業での育成の方法の工夫をする。 ◇進路への意識を高めるため、各種の進路ガイダンスを系統的に実施する。 ◇入試、および進学後に耐える学力向上のため、生徒の目的に合わせて指導を実施する。 ◇就職先の企業の確保と新規開拓 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアドバイザーの配置 ・進路指導部と学年・分掌との連携 ・外部機関と連携した進路行事の実施 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) あいさつの重要性を徹底 (2) 積極的な企業訪問、求人依頼 (3) 進路行事後の生徒自身の振り返り (4) 各種ガイダンス、テストの実施 (5) 授業における表現力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日常的にあいさつが身についているか。 (2) 必要な求人は確保できたか。 (3) 自分で考え、それを表現することができたか。 (4) 必要な情報を見つけ、自分の進路を具体的に考えられたか。 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・職員のほうから積極的に声をかけること。集会であいさつの大切さを示すことを心がける。 ・行事ごとに振り返りや感想を綴らせ、ファイルに保存させた。 ・キャリアアドバイザーと分担して企業訪問を実施し、また、各地で開催される企業との就職懇談会に参加した。 ・1年生はチャレンジ講座につながるようにガイダンスを配置した。2年生は、より具体的に進路を考えられるように9月より月1回ペースで進学ガイダンスと社会人基礎力講座を外部講師を活用しながら実施した。 ・実力の診断や進学向けの模擬テストを計画的に配置した。 ・授業改善について職員研修会などでその実践を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①あいさつ、身だしなみの様子 ②キャリアファイルの点検 ③求人件数、入社・入学試験の結果 ④学校アンケートの実施 ⑤模擬テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A B <input checked="" type="checkbox"/> C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D A B <input checked="" type="checkbox"/> C D

11 成果・課題	<p>○いつでもしっかりあいさつをする雰囲気が生徒に広まってきている。外部からもそうした声を伝え聞いている。</p> <p>○2年生は後半より進路を意識した姿勢や行動が顕著になってきた。</p> <p>○景気の動向もあり、就職試験では初回の試験でほとんどの生徒が内定をもらうことができた。</p> <p>●生徒との面談や生徒が作成した感想文等からは、依然としてその場での確に自己表現する力の弱さが見受けられる。</p> <p>●生徒に対して1年間や3年間の進路決定に向けての見通しを伝えきれていない。そのために生徒の意識・意欲を十分に高めることができていない。</p> <p>●将来に耐えうる学力の向上がまだまだ不十分であり、一般入試に対応しきれていない。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業で基礎学力のアップと思考力・表現力を育成していけるよう引き続き授業を工夫していく。 ・全ての教師が生徒の進路相談に応えられるように、進学・就職に関する具体的な情報を職員会議等で提供していく。 ・進学希望者の意欲を保ちつつ力を伸ばす具体的な取り組みを実践する。 ・模擬テストに関する事前事後の指導について教科と相談しながら実効あるものにしていく。 ・引き続き積極的な企業訪問を行い、情報交換するとともに、安定した就職先の確保に努める。 		

デュアルシステム

1 評価する領域・分野	◇デュアルシステム「企業実習」「企業実習基礎」	
2 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇「企業実習」受入協力企業の確保。</p> <p>◇1年生学年団、生徒、保護者への周知と実習参加者の募集。</p> <p>◇実習参加希望生徒の確定と事前指導。</p> <p>◇「企業実習基礎」の内容確定。</p> <p>◇全職員への周知</p>	
3 重点目標を達成するための校内における組織体制	デュアルシステム担当者を校務分掌上に配置。	
4 目標の達成に必要な具体的な取組	5 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<p>(1) 地元八百津町の事業所・企業への説明と協力要請。</p> <p>(2) 1年生学年団への資料提供</p> <p>(3) 1年生学年集会でのガイダンス</p> <p>(4) 参加生徒への事前指導、受け入れ企業との面談</p> <p>(5) 「企業実習基礎」への外部講師の導入</p>	<p>(1) 参加希望生徒に対応できる企業・事業所を確保できたか。</p> <p>(2) 個人面談や保護者懇談会で担任は具体的に説明できたか。</p> <p>(3) 実習希望生徒の数は確保できたか。</p> <p>(4) 生徒と協力企業・事業所とを円滑につなぐことができたか。</p> <p>(5) 実習に向けて生徒の意識は高まっているか。</p> <p>(6) 「企業実習基礎」の内容が系統性をもって構成できたか。</p>	

6 取組状況・実践内容等	7 評価視点	8 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・「趣意書」「手引書」をもとに、担当者が企業や事業所を訪問し、協力要請と説明をおこなった。 ・4月当初より学年団や保護者向けの資料を作成し、学年団の指導を支えた。 ・参加希望生徒へのガイダンスを何回か行い、趣旨の徹底と心構えの育成等を心がけた。 ・協力企業・事業所との連絡を密にし、打ち合わせをしながら生徒との対応を進めた。 ・「企業実習基礎」について、外部団体と協力して系統的なカリキュラムの作成を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①協力企業・事業所数 ②実習参加希望生徒の数 ③実習参加希望生徒のレポート ④実習の進捗状況 ⑤全職員への周知状況 	<p>A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">9 成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度さらに協力企業が1社増え、協力企業・事業所数22となった。また八百津町商工会青年部の会議でも実習について説明する機会を得た。 ○地元八百津町の各企業・事業所、商工会、役場の意欲的な協力を得ることができている。特に企業の方々は趣旨を的確に理解しておられ、目的に沿った指導をしていただけている。 ●来年度の実習希望者は10名であり、本年度より5名減ってしまった。やはり、実習の成果を校内に還元できていないためと考える。次年度に向けて実習生が20名を超えるように丁寧な説明を心がけていきたい。 ●来年度実施に向けては整備する課題がまだまだ多い。また、協力企業・事業所との連絡をより密にし、協力して生徒を育てる仕組みに作り上げていく意識を忘れないようにする。 	<p style="text-align: center;">総 合 評 価</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p>

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の将来を左右する進路指導は奥が深い分野であるが、「魅力ある高校作りの推進」という観点からとても重要な分野なので、今後とも調査・研究をすすめてほしい。 ・八百津高校の特色のひとつでもあるので、今後も継続してほしい。 ・中高連携とも結びつけた事業についても、検討を進めていってほしい。 |
|---|

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

【No. 5 保健厚生関係】

岐阜県立八百津高等学校 学校番号 38

I 自己評価

1 学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。													
2 評価する領域・分野	◇保健管理、安全管理													
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害時の対策マニュアルの周知・徹底と事故や災害時の報告体制を徹底し、緊急時の初期対応意識の高揚に努める。 ・健康診断、講話、職員研修会を活用 													
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇日常と定期的安全点検を実施し、安全面の徹底を図ると共に、命を守る訓練を通して、職員の危機管理意識も高める。 ◇健康診断、各種調査をもとに生徒の健康状態を確実に把握し、連絡会を通し共通理解を図り、自主的健康管理の育成に繋げる。 													
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、体力測定、保健講話などの企画運営 ・命を守る訓練、日常安全点検、定期安全点検 													
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標													
<ul style="list-style-type: none"> (1) 健康診断、体力測定 (2) 保健講話 (3) 命を守る訓練、日常・定期安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> (1) アンケートの分析 (2) 集計結果と改善の取り組み 													
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価												
<ul style="list-style-type: none"> (1) 健康診断、体力測定、各種事前検診 (2) 保健講話、薬物乱用防止講話 (3) 命を守る訓練、日常・定期安全点検、掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ①実施率 ②アンケートの分析 ③アンケートの分析 	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>A</td> <td><input type="checkbox"/>B</td> <td><input type="checkbox"/>C</td> <td><input type="checkbox"/>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D	A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D
<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D											
A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D											
A	<input checked="" type="checkbox"/> B	C	D											
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断は計画通り実施し、事後指導も保護者へ連絡が徹底できた。 ○保健講話は、人権講習会とタイアップし、お互いが尊重される環境づくりの実施に向けて、講演会を実施した。 ○命を守る訓練では、休み時間での災害発生を想定し実施できた。 ●昨年度より全員掃除となり、時間短縮と先生方の工夫で時間を持て余す生徒や掃除に参加せず帰宅する生徒もいなくなった。学習環境が整うまで、隅々までは行き届いていない場所も見受けられる。 													
12 来年度に向けての改善方策案														
<ul style="list-style-type: none"> ・全員掃除の継続を再検討し、整理整頓された環境での学習になるよう工夫が必要である。 ・年2回の命を守る訓練は、生徒が活躍できるような場面設定で、意識が高まるように計画していく。 ・保健講話は生涯を通じて健康を考えるきっかけとなるような専門家を招いて実施したい。 														

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかかわからない大規模災害に向けての「命を守る訓練」はとても大切であり、今後も継続して進めてほしい。
--

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

【No, 6 特別活動関係】

岐阜県立八百津高等学校 学校番号 38

I 自己評価

1 学校教育の目標	21世紀の社会を担うに必要な、自律の精神、実践を伴う行動力、創造性豊かな人間性の育成を目指す。	
2 評価する領域・分野	◇特別活動	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・高校生活を良いものにしようと、特に行事に向けての取り組みを熱心に行い、クラスの仲間との絆を深めようとする生徒が多い。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒主体の行事運営	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・役割分担をはっきりさせ、担当教員が早い段階で生徒に指示や相談ができる体制づくり	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 生徒会、各種委員会の活性化 (2) 有志企画の募集 (文化祭)	(1) 生徒アンケートの評価 (2) 取り組み過程・行事本番の生徒観察	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・昨年度よりも良いものを作りたいという三年生を中心とした生徒の活気にあふれ、体育大会・文化祭ともに良いものがあった。 ・二年生には来年は自分たちが中心となってやるという意識付けができたと思う。	①生徒の満足度 ②教員の視点	<input checked="" type="checkbox"/> A B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
11 成果・課題	○八百津高校主催のクリーン大作戦など各種ボランティア活動に積極的に参加することができた。 ○体育祭は夏休みの練習時間を工夫して、自主的に活動を行うことができた。 ○文化祭では有志団体が多く参加し、盛り上げることができた。 ●各種行事を行う際のルールの徹底をどう守らせるかが問題。	
総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> A B C D		
12 来年度に向けての改善方策案		
・行事の目的をしっかりと理解させ、考えて行動できるような体制をつくる。 ・ごみの分別、服装マナーなどもしっかりする。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年3月1日

【意見・要望・評価等】 ・生徒がやる気をもって臨むことは積極的に取り入れ、達成感や満足感を味わってもらえるように工夫を進めていってほしい。
